

## 日本版DMO形成・確立計画

## 1. 日本版DMOの組織

|                                    |   |   |
|------------------------------------|---|---|
| 申請区分                               | 広域連携DMO・ <u>地域連携DMO</u> ・地域DMO  |   |
| 日本版DMO候補法人の名称                      | 【設立予定】(仮称)(一社)津軽圏域DMO   |   |
| マーケティング・マネジメント対象とする区域              | 【青森県】弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市、鱒ヶ沢町、深浦町、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、鶴田町、中泊町  |   |
| 所在地                                | 青森県弘前市内(予定)   |   |
| 設立時期                               | 2020年4月1日(予定)   |   |
| 職員数                                | 未定(2020年3月までに決定)  |   |
| 代表者(トップ人材:法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者) | 理事長(非常勤)<br>未定  | マネジメントエリアである14市町村に関する見識が深く、観光に関する知識が豊富な、各市町村から信用の厚い人物を選定予定。             |
| 事務局長                               | (氏名)<br>未定<br>(出身組織名)<br>未定   | 組織設立までに津軽地域の歴史や文化、自然等に対する理解があり、域内の各市町村の状況を理解したうえで、各方面との調整が行える人材を採用する予定。 |
| 各種データの分析・収集等(マーケティング)の責任者(専門人材)    | (氏名)<br>未定<br>(出身組織名)<br>未定   | 組織設立までにマーケティング業務に実績があり、なおかつ津軽地域の歴史や文化、自然等に対する理解のある人材を採用する予定。            |
| 連携する地方公共団体の担当部署名及び役割               | <中南・西北エリアのマーケティング、商品開発・社会資本整備・地域公共交通等担当課との連携窓口、その他関係団体との連携窓口><br>弘前市観光部・黒石市商工観光部・平川市経済部・藤崎町経営戦略課・大鰐町企画観光課・田舎館村企画観光課・西目屋村産業課・五所川原市経済部・つがる市経済部・深浦町観光課・鱒ヶ沢町観光商工課・板柳町産業振興課・鶴田町企画観光課・中泊町水産商工観光課<br><情報提供、助言><br>青森県庁観光国際戦略局、青森県中南地域県民局・西北地域県民局 |   |
| 連携する事業者名及び役割                       | <着地型旅行商品造成><br>(公社)弘前観光コンベンション協会、(一社)黒石観光協会、(一社)五所川原市観光協会、つがる市観光物産協会、岩木山観光協会、大鰐温泉観光協会、(一社)平川市観光協会、(一社)深浦町観光協会、(一社)鱒ヶ沢観光協会、目屋観光協会、板柳町観光物産協会、(一財)ブナの里白神公社、鶴田町観光協会、(株)中里観光など<br><br><地域資源の磨き上げ(特産品の開発など)>                                    |   |

(別添) 様式 1

|  |  |
|--|--|
|  | <p>弘前商工会議所、(公社)弘前市物産協会、黒石商工会議所、黒石物産協会、Knock<sup>2</sup>World、(特非)横町十文字まちそだて会、こみせ観光ボランティアガイドの会、平川市商工会、津軽みらい農業協同組合、「道の駅」いかりがせき、めりんごネット、深浦マグロ料理推進協議会、(株)ふかうら開発、(株)あおもり海山、(株)西崎水産、五所川原商工会議所(一社)かなぎ元気村、企業組合でる・そーれ、(株)トーサム、(有)ヤマホ竹鼻製麺所、金木農産商事、梅沢りんごジュース生産組合、(株)やまと商社、居酒屋 磯喜、(株)JIN CARE、三好村づくり推進協議会農産物加工センター、福土豆腐店、(株)アグリコミュニケーションズ津軽、大鰐町商工会、プロジェクトおおわに事業協同組合、(一財)ブナの里白神公社、西目屋村商工会、白神マタギ舎、西目屋村観光ガイド会、Canoe&amp;Rafting A' GROVE、中泊町特産物直売所「ピュア」、中泊メバル料理推進協議会など</p> <p>&lt;受入環境整備&gt;</p> <p>○交通事業者<br/>弘南バス(株)、弘南鉄道(株)、津軽鉄道(株)、東日本旅客鉄道(株)秋田支社、(株)平賀ハイヤー(一社)青森県タクシー協会(五所川原地区タクシー協会)、大鰐交通(株)、中里交通(株)、(株)中里観光など</p> <p>○宿泊事業者<br/>青森県旅館ホテル生活衛生同業組合、五所川原市旅館組合、弘前旅館ホテル組合、西十和田旅館組合、南田温泉ホテルアップルランド、グリーンファーム農家蔵、大坊温泉、柏木温泉、からんころん温泉、つがる温泉、古遠部温泉、羽州路の宿あいのり、津軽圏域内の道の駅・海の駅及び産直施設、春光山円覚寺、大鰐温泉旅館組合、(一財)ブナの里白神公社など</p> <p>○学校<br/>弘前大学など</p> |
| <p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p> | <p>(該当する要件)</p> <p>②日本版DMOの組織内に行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置すること。</p> <p>③日本版DMOが行う取組に関する連絡調整を行うため、行政や関係団体から構成される協議会等をDMOとは別に設置すること。</p> <p>(概要)</p> <p>DMOの事務局とは別に、組織内に日常的な調整や意見交換を行うワーキンググループを設置するとともに、DMOとは別に、多様な関係者の意見を聴取できるような協議会を組織設立までに設置する予定。</p>   |
| <p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>   | <p>半年に1回程度、域内の関係者や地域住民を対象に、観光地域づくりに関する勉強会やワークショップを開催し、外部有識者の講演を聞いたり、その講演をもとに議論を交わしたりすることによって、意識啓発や参画促進につなげる。域内のデータ収集が進んだ後はそのデータをもとに議論を交わし、自ら積極的に問題を分析し、課題解決に向けた議論ができるような人材を育てる。地域住民には、地元への誇りと愛着を持ってもらうことが大切だと考えることから、地域で行われてきたイベントやまつりに積極的に参加するようになる仕組みを考え、関係者や住民が一体になった地域づくりに繋げる。</p>   |
| <p>法人のこれまでの活動実績</p>                      | <p>(活動の概要)</p> <p>新規に立ち上げる団体のため実績無し</p> <p>(定量的な評価)。</p> <p>新規に立ち上げる団体のため実績無し</p>  |

**実施体制**

(実施体制の概要)  
 組織設立までの準備や検討に当たっては、各市町村の担当職員が担当者会議を月2回程度開催し進めていく。また、宿泊事業者、飲食事業者、交通事業者、農林水産事業者など多様な関係者が参画する意見交換会などを開催しつつ、10月ごろを目途に積極的な事業者には担当者会議にも参加していただく予定。  
 組織設立後の実施体制の想定は以下の図の通り。DMOがエリア内外の対応窓口としてワンストップで対応するとともに、マーケティング調査などによりデータ収集・分析を行い、その結果をもとに戦略立案を実施する。地域の自治体や事業者に対しては、多様な関係者の合意形成を行えるよう、分析結果等の情報提供を行いつつ、策定した戦略に沿ってご協力いただくことを想定している。

(実施体制図)

○実施体制図 (案)

**2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域**

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

1976（昭和 51）年から、マネジメントエリアを構成する地方公共団体及び観光協会、地域の交通事業者で「津軽広域観光圏協議会」を設置しており、情報発信サイト「津軽なび」を通じたエリア全体の観光に関する情報の一元的な発信や、旅行エージェント訪問による誘客促進を実施しており、DMOとしての活動を進めていくうえで連携が取りやすい枠組みであることから、当該区域をマネジメントエリアとして設定した。

また、観光資源の面からみても、ローカル鉄道 2 社がある当該地域は、移動も観光の一部として旅行者に訴えやすく、津軽塗やこぎん刺しなどの文化や歴史の面で共通する資源がある一方、各地域それぞれが独自色に富んだ特産品を有することから、共通のテーマの下、各自治体が独自の特徴を出して多様なコンテンツを旅行者に対し提示することができるため、マネジメントエリアの範囲として適切であると考えます。

【観光客の実態等】

| 項目            | 平成 26 年    | 平成 27 年    | 平成 28 年    | 平成 29 年    | 平成 30 年    |
|---------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 観光入込客数<br>(人) | 11,483,664 | 11,844,505 | 11,610,285 | 11,787,486 | 11,808,975 |
| 延べ宿泊者数<br>(人) | 1,001,490  | 1,052,178  | 1,057,748  | 1,091,703  | 1,099,125  |

平成 27 年にエリア内で観光入込客数が多い弘前市において、100 年に 1 度のイベント、弘前城の曳屋があったため、平成 27 年の入込客数が急増し、その翌年の平成 28 年は反動減している。過去 5 年を通してみると、順調に入込客数は増加している。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

## (別添) 様式 1

| ○観光・商業施設 |             |  |
|----------|-------------|--|
| 市町村名     | 施設名         | 施設概要   |
| 弘前市      | 弘前公園（弘前城）   | 52種 2,600本の桜が楽しめる公園。日本全国に12しかない、江戸時代以前より残存する現存十二天守の1つ、弘前城があり、四季折々のまつりの会場となる。                                   |
|          | 津軽藩ねぶた村     | 農産品の直売所や地元産の食材が楽しめるお食事処のほか、こぎん刺しや津軽塗などの工芸や津軽三味線の演奏などの体験ができる施設。   |
|          | りんご公園       | りんごの木に囲まれた公園でりんごや土産物の販売を行う他、園内にはりんごの発泡酒シードルの醸造所がある。  |
| 黒石市      | 津軽伝承工芸館     | 津軽の伝統的な文化（津軽塗りなど）全国に発信し、来館者に見るだけではなく、実際に津軽の風土や文化に触れ、体験できる施設。   |
|          | 津軽こけし館      | 全国から4,000本のこけしが展示されているほか、こけし工人による製作実演や絵付け体験のほか、こけしグッズや雑貨の販売などこけしの魅力が詰まった施設。                                    |
|          | 松の湯交流館      | こみせ通りに位置し、ワークショップや展示会などのイベント開催やまち歩きの拠点など市民の交流の場としての役割も担っている。   |
|          | 中町こみせ通り     | 重伝建に指定。「こみせ」と呼ばれる木製のアーケードが連なって設けられており、歩行者が雨や雪などを受けることなく、快適に通行することが可能。  |
|          | 高橋家住宅       | 1763年に建築され、重要文化財に指定。現在は、喫茶店を営んでおり、コーヒーや手作りのあんみつなどを食することができる。   |
|          | 金平成園        | 明治35年に完成した「大石武学流」の代表的な作庭様式の庭園。幕末から近代にかけ、津軽地方を風靡し、平成18年に史跡名勝記念物に指定。   |
|          | 黒石温泉郷       | 黒石市の奥座敷に位置し、温湯、落合、板留及び青荷温泉の総称。古くから湯治場として栄え、現在も多くの人で賑う。   |
| 五所川原市    | 立佞武多の館      | 大型立佞武多三台を常時観覧できるほか、併設の製作所は、これら巨大ネプタの製作現場も見学できる。最上階では、岩木山、八甲田山、梵珠山、津軽平野の眺望を食事とともに楽しむことができる。                     |
|          | 道の駅十三湖高原    | 特産品コーナー・レストランがあり、十三湖名産ヤマトシジミの販売やしじみにこだわったクイズ、ゲームなどが楽しめる「道の駅十三湖高原まつり」も開催される。                                    |
|          | 太宰治記念館「斜陽館」 | 津軽鉄道金木駅から300mほどに位置する赤レンガの厚い塀をめぐらした、総ヒバ造りの建物で、作家太宰治の生家。明治40年に、太宰の父津島源右衛門が建てたもので、現在は太宰治記念館「斜陽館」として全国からファンが訪れている。 |
|          | 津軽金山焼       | 地元のきめ細かい土を主体に、釉薬を使わずに燃料の松薪による自然釉と炎にまかせた陶器。   |
|          | 津軽三味線会館     | 津軽三味線発祥の地。会館内では1日4回の津軽三味線演奏（12月～3月までは3回）と津軽三味線の歴史などを紹介する展示室がある。  |
|          | 楠美家住宅       | 江戸末期から明治期にかけての豪農の生活を学べる場と  |

## (別添) 様式 1

|      |                                 |   |
|------|---------------------------------|---|
|      |                                 | して、平成 12 年（2000 年）に狼野長根公園内に移築された。4 月から 11 月まで開館しており無料で見学できる。また、各種 展示会や発表会、お茶やお花の稽古、会議や勉強会、茶話会などにも無料で利用できる。建物内には特産物の販売や喫茶コーナーもある。                  |
|      | 喫茶店「駅舎」                         | 芦野公園駅・旧駅舎を改装した喫茶店。  |
| つがる市 | 縄文住居展示資料館<br>カルコ                | 亀ヶ岡遺跡をはじめ、市内や県内各遺跡からの出土品が展示されている。縄文時代の生活を再現した復元された堅穴式住居もあり、縄文人そっくりの人形が来館者に古代語で語りかける。明治 20 年、亀ヶ岡遺跡から出土し、昭和 32 年に国の重要文化財に指定された「遮光器土偶」のレプリカが展示されている。 |
|      | 木造亀ヶ岡考古資料室                      | 亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚の近くにあり、縄文晩期の亀ヶ岡式土器や石器類など、1 千点余りを展示している。   |
|      | 森田歴史民俗資料館                       | 縄文前～中期の円筒土器文化研究のルーツである石神遺跡からの出土品を多数展示。国重要文化財 219 点など、縄文時代の芸術性を堪能することができる。   |
| 平川市  | 盛美園                             | 明治 35 年より 9 年間を費やして小幡亭樹が作庭した、面積約 1.2ha の大石武学流と呼ばれる枯山水池泉廻遊式の代表的名園。<br>庭園と融和した独自の美しさをもつ盛美館は、和洋折衷式の珍しい建物で明治文化の面影をしのばせている。                            |
|      | 猿賀公園                            | 春には鏡ヶ池・見晴ヶ池を取り囲む約 330 本の桜の花と池の噴水の景色が美しく、夏には鏡ヶ池に和蓮が咲き誇る。純和風・洋風や、洋花・山野草を使用した個性的な「見本庭園」や生垣迷路などもある。   |
|      | ねふた展示館                          | 平川ねふたまつりの最後尾に出陣する、高さ 12m を誇る「世界一の扇ねふた」が展示され、無料で見学可能。  |
|      | 碓ヶ関関所資料館                        | 津軽為信公が天正 14 年（1586 年）に秋田比内の浅利氏を攻め、帰陣する際に設けた関所が再現されている。人形を使い、当時の厳重な取り調べ風景を再現しているほか、藩政時代の武具や古文書等を展示している。  |
| 鱒ヶ沢町 | 海の駅わんど<br>鱒ヶ沢相撲館「舞の海<br>うるさと棧敷」 | 新鮮な海産物・農産物、土産品の販売のほか、お食事処や Café、無料休憩なども併設している。また、2 階には鱒ヶ沢町出身で技のデパートと呼ばれた元小結舞の海をはじめ、郷土出身力士の活躍や伝統、文化などを紹介。  |
|      | 自然観察館「ハロー白<br>神」                | 白神山地に生息する動物のはく製や四季の写真パネルの展示や、マタギ文化などを紹介している。  |
|      | 青森スプリング・スキ<br>ーリゾート             | 岩木山の北斜面に位置し、安定した積雪量、雪質を誇る。3.4 km のロングコースとワールドカップ級のハーフパイプが人気。コースからは日本海と津軽平野が一望できる。   |
|      | 青森スプリング・ゴル<br>フクラブ              | アーノルド・パーマー氏が設計した、岩木山の麓に広がる戦略性豊かなコース。コースからの日本海と津軽平野の眺望は格別。   |
| 深浦町  | 十二湖公園                           | 世界自然遺産「白神山地」の広大なブナの森に湖沼が点在する十二湖。春からの新緑、秋の紅葉と美しい景観を見せてくれる。アップダウンも少ないことからトレッキング初心者も安心。白神の自然を快適に体感。  |
|      | ウェスパ椿山                          | 複合型の欧風リゾート施設、全 20 棟の宿泊コテージや、  |

## (別添) 様式 1

|      |                     |   |
|------|---------------------|---|
|      |                     | 海に突き出た小高い丘の上のドーム型展望風呂、展望モノレールなど滞在型で楽しめる。  |
|      | アオーネ白神十二湖           | 白神山地の主峰「白神岳」登山や十二湖散策の拠点にうってつけの自然体験型リゾート施設。地元食材を使ったフレンチが味わえるレストランなども備わる。               |
|      | 黄金崎不老ふ死温泉           | 温泉ファンが「一度は入ってみたい」と憧れる全国屈指の人気を誇る秘湯。波打ち際の露天風呂も有名だが、網元ゆえの新鮮な魚介類料理が絶品。リピーターが多い。           |
|      | 道の駅ふかうら             | 風合瀬（かそせ）イカ焼き村。目の前の海で獲れた鮮魚、新鮮な野菜などを扱う。徒歩わずか10秒で施設裏の海岸で磯遊びができる。                         |
| 西目屋村 | 道の駅津軽白神             | 観光案内所、レストラン、農産物直売所、コーヒー焙煎工場などがあり、そば打ち体験やコーヒー焙煎体験ができる施設。また、水陸両用バスの発着地にもなっている。          |
|      | 白神山地ビジターセンター        | 大型映像体験ホールや展示ホールにて、白神山地を総合的に学ぶことができる施設。  |
|      | 津軽白神湖（津軽ダム）         | 2016年10月に完成したダム湖で、ダム施設の見学やカヌー体験などができる。  |
|      | ブナコ西目屋工場            | 工芸品であるBUNACOの工場見学や、製作体験ができる施設。  |
| 藤崎町  | 唐糸御前史跡公園            | 北条時頼の回国伝説にまつわる唐糸御前伝説を伝える公園。岩木山が眺望でき、藤棚や桜などの花々が楽しめる。                                   |
|      | ふじさき食彩テラス           | 特産の農畜産物を使ったビュッフェランチを堪能できる。周辺地域の観光パンフレットを設置しており、観光で訪れた際の拠点としても利用できる。                   |
| 大鰐町  | 大鰐温泉                | 開湯800年の歴史を持つ、津軽の殿様の疲れを癒した温もりの湯。3つの公衆浴場と4つの足湯がある。                                      |
|      | 大鰐町地域交流センター「鰐 come」 | 大鰐温泉を日帰りで手軽に楽しめる館内の温泉や、大鰐町の食材を使ったメニューを楽しめる食事処のほか、お土産や産直品が豊富に揃う産直売店がある。                |
|      | 大円寺                 | 大鰐町のほぼ中央に位置し、「大鰐の大日様」として篤い信仰を集める大円寺。仏像が多く並ぶ本堂の中央一番奥に、国指定重要文化財である本尊の「阿弥陀如来座像」が安置されている。 |
|      | 大鰐温泉スキー場            | 100年の歴史を持つスキー場。コースバリエーションが豊富で、超上級者や初級者まで楽しむことができる。                                    |
|      | わにもっこ（こかげ）          | 無垢の木の注文家具や木製の小物などを製作している工房。こかげでは、わにもっこで製作した小物や家具の販売や展示館を行っている。                        |
| 田舎館村 | 田舎館村埋蔵文化財センター       | 弥生時代の水田跡の上に建てられた施設。水田跡の上を直接歩ける。出土された土器などの展示も行っている。                                    |
|      | 道の駅いなかだて 弥生の里       | 第2田んぼアートや冬の田んぼアートの会場。休日には敷地内に併設された遊具施設が子ども連れでにぎわう。                                    |
| 板柳町  | 板柳町ふるさとセンター         | 世界各国のりんごを栽培する品種見本園、りんご資料館、りんご加工場のほか、子どもから大人まで楽しめる遊戯施設、農産物直売所、りんご加工集出荷貯蔵施設を備えている。      |
| 鶴田町  | 鶴の舞橋                | 全長300mの日本一長い木造三連太鼓橋。津軽富士見湖上に架けられた橋は季節ごとに美しい景色を楽しめ、国                                   |

## (別添) 様式 1

|     |                |   |
|-----|----------------|---|
|     |                | 内外から多くの観光客が訪れる。   |
|     | 丹頂鶴自然公園        | 富士見湖パーク内にあり、飼育ゲージで「生きた丹頂鶴」を一年中鑑賞することができる。                                 |
|     | 道の駅つるた鶴の里あるじゃ  | 鶴田町の新鮮な農産物や生産量日本一のスチューベンぶどうの様々な加工品を取り扱う。通常の3~5倍サイズの「びっくりパン」や「びっくり豆腐」も大人気。 |
| 中泊町 | 小説「津軽」の像記念館    | 小説「津軽」内での太宰と子守のタケが再会した様子を再現した像がある他、小説「津軽」に関する展示も充実。                       |
|     | 中泊町特産物直売所「ピュア」 | 町の新鮮な農産物・海産物を中心とした特産物を販売する直売所。メバル膳を提供するレストランや加工施設も併設。                     |
|     | 道の駅こどもり「ポントマリ」 | 国道339号、通称竜泊ラインの入り口にある道の駅。小泊の地場産品を取り揃えた直売所やレストランがある。                       |

## ○自然

| 市町村名  | 施設名       | 施設概要  |
|-------|-----------|---|
| 弘前市   | 嶽・湯段・百沢温泉 | 市の西側に位置する岩木山周辺の温泉。10か所の源泉から硫黄泉、炭酸水素泉、塩化物泉など、様々な泉質が楽しめる。   |
|       | 世界一の桜並木   | 岩木山南麓、総延長約20kmに渡り6500本のオオヤマザクラが連なる世界一長い桜並木。   |
|       | アップルロード   | 大鰐弘前IC～岩木地区への約20kmに渡る道路の愛称。道路両脇には多くのりんご畑が広がり、花が咲く時期や、収穫の時期は観光スポットになる。   |
| 黒石市   | 中野もみじ山    | 小嵐山と称される中野もみじ山では、燃えるような紅葉をはじめ、滝や溪流も同時に楽しめ、県内外から多くの観光客が訪れる。境内には樹齢600年を超える大杉なども生育し、巨木としても高く評価されている。夜間はライトアップされ、ライトに照らされたもみじは、鮮やかで幻想的。 |
|       | カタクリの小径   | 人知れずひっそりと咲いているカタクリの群生。約3haに咲き誇る群生地は、日本有数とも言われ、毎年、春に一般公開が行われる。   |
|       | 黒石観光りんご園  | 広大な津軽平野と岩木山を一望できる園内で新鮮なりんごを直接もぎ取り、味わうことができる。  |
| 五所川原市 | 芦野公園      | 芦野湖を中心にした広大な園地に、約1,500本の桜と1,300本の松、児童向けの動物園、太宰治文学碑、太宰治銅像、津軽三味線発祥の地碑などがある。   |
|       | 大沼公園      | 大沼一周できる遊歩道は「縄文の橋」と日本一長い屋根付の「東日流館橋(つるがやかたばし)」があり途中遊具も備えている。  |
|       | 芦ノ湖       | 芦野湖は灌漑用水用ため池として1701年に完成。正式名称は「藤枝溜池」。湖畔には芦野公園があり、四季の自然を味わえるほか、オートキャンプ場や児童動物園、ボート乗り場などもある。  |
|       | 十三湖       | 津軽半島の中ほど、岩木川が日本海に注ぐ地に十三湖がある。淡水と海水の混ざり合った汽水湖で、特産品であるしじみは全国的に有名。  |



## (別添) 様式 1

|      |                |   |
|------|----------------|---|
| つがる市 | ベンセ湿原          | ニッコウキスゲの群生地で、日本自然百選に指定されている。見ごろは、5月下旬から6月中旬ころまで。ニッコウキスゲが終わると野花菖蒲が咲き、黄色から紫色へと変わり、訪れる人を楽しませてくれる。                            |
|      | 最終氷期埋没林        | 約2万8千年前のエゾマツやアカエゾマツの針葉樹が1kmに渡り見ることができる。幅約30cmの泥炭層に1m～2mの間隔で数千本が並ぶ規模は世界最大級と言われ最終氷期(約8万～2万年前)後期の極寒気に洪水などの急激な環境の変化によって残ったもの。 |
|      | 日本最古のりんごの樹     | 明治11年に植栽したもので、県の天然記念物に指定。今でも約7,000個の実がなる。(2019年:樹齢140年)   |
|      | 柏の木            | 津軽藩初代藩主の津軽為信公が柏の木の元で畑を耕していた人々を励まし、ここの地名を広須野と命名したといわれている。宝永元年(1704年)に開拓ができあがった記念に栽植されたものである。                               |
|      | 公孫樹の木          | 津軽藩四代藩主信正公が、木作御仮屋改築工事を起こし、これが落成した貞享元年(1684年)に植えられたもの。幹の周囲7m、高さ25m。乳の出ない婦人がこの木に祈願すれば乳が出ると伝えられている。                          |
|      | 一本タモ           | 推定樹齢千年のヤチタモ。幹のこぶは夫人の乳房に見えることから「乳の出る神様」として崇められている。   |
| 平川市  | 志賀坊森林公園        | 豊かな穀倉地帯である広大な津軽平野が一望でき、ここから眺める岩木山の姿は津軽一ともいわれている。遊歩道を少し歩くとカタクリの花もあり、ハイキングやピクニックには絶好の場所である。                                 |
|      | 白岩森林公園         | 雪のように真っ白な岩肌が神秘的な白岩森林公園は、自然の織りなすコントラストが美しく、5月下旬には「白岩まつり」が開催される。  |
| 鱒ヶ沢町 | 世界自然遺産「白神山地」   | 1993年12月世界自然遺産に登録された白神山地は、世界最大級の原生的なブナ林を有し、天然記念物のクマゲラやイヌワシなど、多種多様な動植物の生態系が育まれている。   |
|      | 白神の森遊山道        | 市街地から車で約20分。白神山地の麓に位置し、気軽に入れるエリアながら、世界遺産登録地域と同様の森林景観を体感できる。   |
|      | 日本の滝百選「くろくまの滝」 | 落差85m、幅15mの県内最大級の滝。観音様が合掌しているように見える姿から古くから信仰の場とされている。   |
|      | 赤石溪流           | 白神山地を源流とする赤石川は、清流が育む金アユやヤマメイワシなどの宝庫。四季折々の溪流美が楽しめる。  |
|      | 岩木山菜の花畑        | 岩木山麓、山田野地区の菜の花畑。岩木山のすそ野が黄色の絨毯で鮮やかに彩られます。  |
| 深浦町  | 青池・ブナ自然林       | 東北の“絶景ブルー”として知名度も向上。ブナの木々が生えるコバルトブルーの水面をウッドデッキの遊歩道から覗くことができる。   |
|      | 北金ヶ沢・日本一のイチョウ  | 1,000年以上の樹齢を誇る、日本最大級のイチョウ巨木。幹回り約22mあり、巨大さとその歴史によって2004年に国の天然記念物に。   |
|      | 大岩海岸           | 深浦駅から歩いて約3分。国道から大岩までは100mほどの遊歩道を渡って辿りつける。洞窟の階段を登って岩   |

## (別添) 様式 1

|      |                      |  |
|------|----------------------|--|
|      |                      | の上に出れば日本海が 360 度一望できる。最近では“駅前洞窟”として SNS 等で拡散されている。   |
|      | 岡崎海岸                 | 「日本の渚百選」にも選ばれており、景勝地が揃う「夕陽海岸ふかうら」の中においても全国有数の情緒あふれる眺望が楽しめる。  |
|      | 久六島<br>(きゅうろくじま)     | 不老ふ死温泉がある船作崎灯台から西へ 30 キロに、釣り人たちが憧れる無人島「久六島」がある。独特な潮の流れる良質な深層水の恩恵で大きなアワビやサザエ、巨大なクロマグロやメバル、ヤリイカやホッケなど常に大好漁なことからも「魚宝礁」とも呼ばれている。       |
| 西目屋村 | 暗門の滝                 | 白神山地の名勝で、溪流沿いのルートに登り、たどりつける 3 段からなる滝。  |
|      | 世界遺産の径 ブナ林<br>散策道    | 世界遺産地域内を唯一気軽に歩くことができるコース   |
|      | 乳穂ヶ滝                 | 古来から正月の厳寒期に結氷する滝の太さや形状で、津軽地方の作況占いがされてきた高さ 33m の滝。  |
|      | 目屋溪谷                 | 昭和 3 年に弘前新聞社が主催した津軽十景で 1 位に選ばれた県内でも屈指の名勝   |
| 藤崎町  | 白鳥ふれあい広場             | 岩木山を背景に、一級河川 平川に飛来する白鳥を間近に観察することができる。  |
| 大鰐町  | 石の塔                  | 大鰐町早瀬野地区国有保護林内の山頂に「石の塔」という高さ 24m、周囲 74m の自然現出した一塊の巨石がある。登頂は 40 分程度。  |
|      | 茶臼山公園<br>(公園内) 俳句の小径 | 1 万 5 千本のつつじが咲き誇るつつじの名所。毎年 5 月中旬には「大鰐温泉つつじまつり」が開催される。また、公園内には 62 もの句碑が並ぶ「俳句の小径」がある。この句碑は、大鰐町を代表する俳人・故 増田手古奈氏の 80 歳を記念して建てられたものである。 |
|      | 天然スギヒバ混交保護<br>林      | 「天然のスギ」と「ヒバ」が混生する非常に珍しく、規模や林相は学術的に大変貴重な資料となっている。   |
|      | おおわに観光りんご園           | 色、香り、果実の歯触りなど品質が高く、味の濃いおおわに高原りんごの収穫体験ができる。   |
|      | 大鰐温泉もやし              | 温泉熱・温泉水のみを用いた栽培方法は約 400 年の伝統がある。町内の店舗で味わうことができる。購入も可能。   |
| 鶴田町  | 富士見湖パーク              | 津軽富士見湖畔にあり、12.4 ha の公園。園内には日本初の 360 度ループ滑り台や、ピクニック広場などもあり、憩いの場として親しまれている。  |
| 中泊町  | 竜泊(たつどまり)ライ<br>ン     | 国道 339 の小泊から竜飛崎までの通称竜泊ライン。風向明媚で急峻なワインディングロード。  |
|      | 眺瞰台                  | 小泊から竜飛崎をつなぐ国道 339 号、通称「竜泊ライン」の最高地点にある展望台。天気が良ければ北に北海道、南に岩木山といった 360 度のパノラマ景観を楽しむことができる。  |
|      | 権現崎                  | 日本海に突き出た海拔 229 メートルの権現崎は断崖絶壁の地形から古くから「美しい岬」「神の岬」「航海の目印」として深く崇敬されてきた岬。  |
|      | 大沢内ため池公園、湧<br>つぼ     | ため池公園の散策道にはウオーキングや森林浴を楽しむ人が多数訪れる。道の途中には「湧つぼ」があり、ため池の水が農業用水に使われ底が見えてくることで現れるこ   |

## (別添) 様式 1

|       |                  | とから幻の名水とも言われる。夏でも冷たい清水が湧き出ており、平成20年には平成の名水百選に選ばれた。  |
|-------|------------------|---|
| ○文化   |                  |   |
| 市町村名  | 施設名              | 施設概要  |
| 弘前市   | 禅林街              | この地域を治めていた津軽氏の菩提寺である長勝寺を正面に据え、33の寺院が連なる地区。2代目藩主信牧(のぶひら)が弘前城の西南の守りとして曹洞宗の寺院を集めて作った。  |
|       | 藤田記念庭園           | 弘前市出身で日本商工会議所初代会頭の藤田謙一氏が、大正10年に建てた別邸。現在は庭園を見ながら飲食が楽しめるカフェを併設。   |
|       | 日本聖公会弘前昇天教会      | 大正時代に建てられたゴシック様式赤レンガ造りの聖堂。アメリカで120年前に造られたリードオルガンは今も現役で使用されている。  |
| 黒石市   | 秋田 雨雀            | 詩人、劇作家、社会運動家として一生を終え、エスプレントの普及や日本の新劇運動の開拓者として貢献。  |
|       | 大川原の火流し          | 精霊流しが起源とされその歴史は約600年とも言われる大川原の伝統行事。わら舟の帆柱に火をつけて中野川を若者たちが進む。現在は豊凶を占う行事として毎年開催。   |
|       | 旧正マッコ市           | 市内参加店での特売や、買い物をするとマッコ(お年玉)がもらえる黒石名物「マッコ市」。恒例行事「福まき」では、早朝から大勢の人が集まる。   |
| 五所川原市 | 旧平山家             | 18世紀後半の規模・形式をほぼ原形のまま保たれており、中には当家ゆかりの品々も展示されている。上層農民が生活した当時の姿を保つ極めて貴重な史料とされ、主屋と表門は国指定重要文化財に指定されている。                              |
|       | オセドウ貝塚           | 大正12年、県道の切り下げ工事中に貝塚が発見され、亀ヶ岡式土器につながる円筒式土器が多数出土。現在では神明宮の社地で、オセドウ遺跡公園となっている。  |
|       | 唐川城跡             | 標高120mに位置し、天然の地形を利用した中世の山城跡。堀や井戸の跡が数か所残っている。現在、山の中腹に展望台が設けられており、十三湖や大沼、岩木山、日本海が一望できる。   |
|       | 山王坊日吉神社          | 滋賀県大津市の日吉神社の末社として建立されたものであるが、最上部の笠木のある二重鳥居は全国的に珍しいもの。発掘調査を行った結果、中世のものと思われる石溝などが発見され、東北最大規模の宗教遺跡であることが立証されている。                   |
|       | 福島城跡             | 竪穴住居跡や、堀などが発見されており、古代～中世にわたる遺跡であると推定されている。この福島城は、中世十三湊を支配し、蝦夷管領としてその勢力を誇っていた安藤氏代々の居城であったと伝えられている。                               |
| つがる市  | 縄文住居展示資料館<br>カルコ | 亀ヶ岡遺跡をはじめ、市内や県内各遺跡からの出土品が展示されている。縄文時代の生活を再現した復元された竪穴式住居もあり、縄文人そっくりの人形が来館者に古代語で語りかける。明治20年、亀ヶ岡遺跡から出土し、昭和32年に国の重要文化財に指定された「遮光器土偶」 |

## (別添) 様式 1

|      |                 |  |
|------|-----------------|--|
|      |                 | のレプリカが展示されている。   |
|      | 木造亀ヶ岡考古資料室      | 亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚の近くにあり、縄文晩期の亀ヶ岡式土器や石器類など、1千点余りを展示している。   |
|      | 森田歴史民俗資料館       | 縄文前～中期の円筒土器文化研究のルーツである石神遺跡からの出土品を多数展示。国重要文化財 219 点など、縄文時代の芸術性を堪能することができる。  |
| 平川市  | 郷土資料館           | 平川市内遺跡からの出土品や指定文化財の写真パネル等を常設展示し、平川市の歴史や文化財を伝える。  |
|      | 猿賀神社            | 793 年桓武・平城・嵯峨の三天皇に仕えた坂上田村麻呂が建立したと伝えられ、古くから農漁業、交通・眼の守護神として尊信されている。また、津軽神楽奉奏、県下獅子踊大会等様々な祭事や神賑行事を実施する「猿賀神社十五夜大祭」や柳の大枝をたたきつけて今年の豊凶や天候を占う神事「猿賀神社七日堂大祭」も開催される。 |
| 鱒ヶ沢町 | 北前船             | 津軽藩の御要港として栄えた鱒ヶ沢。西回り航路の寄港地として賑わい、経済、文化等の恩恵がもたらされた。白八幡宮に奉納された船絵馬が当時の湊の様子を伝える。2017 年「日本遺産」認定。  |
|      | 国史跡 種里城跡「光信公の館」 | 津軽藩初代藩主為信公の 5 代前、高祖父に当たる大浦光信公が築いた城跡。津軽藩発祥の地と言われている。城跡には歴史資料館「光信公の館」がある。  |
|      | お山参詣            | 古くから山岳信仰の場として崇められている岩木山に、五穀豊穡や家内安全を祈願して、旧暦の 8 月 1 日に集団登拝する行事。長竿の旗を掲げ登山囃子の音色とともに行列をつくり岩木山神社をめざします。  |
| 深浦町  | 春光山円覚寺          | 聖徳太子が作ったとされている御本尊「十一面観音」が安置されている津軽を代表する古刹。他にも薬師堂内厨子は国の重要文化財とれている。北前船寄港地だったことを伝える数々の寺宝が残されており、日本遺産認定に大きく寄与している。   |
| 西目屋村 | 岩谷観世音           | 洞窟にある珍しいお堂。神馬を祀ったと伝えられる。   |
|      | 広泰寺             | 斎藤主が山形県米沢市にあった上杉謙信造営の広泰寺を譲り受けて移築したもの。  |
|      | 不識搭             | 斎藤主が川原平開拓記念として完成させた総レンガ造りの搭。   |
|      | 目屋マタギ           | 白神山地の麓で、古くより狩猟を糧に生活してきた目屋マタギ   |
| 藤崎町  | 常盤ふるさと資料館あすか    | 地元出身の版画家、高木志朗氏と円平仁氏の作品展示や、企画展等を開催している。   |
| 大鰐町  | 宵宮              | 各地区の氏神様の大祭前夜祭を宵宮と呼び、大鰐町の 23 の地区で、およそ一ヶ月にわたり開催される。  |
|      | 供養灯籠流し          | 毎年 8 月 17 日に平川親水公園で行われる供養灯籠流し。   |
|      | 温泉祈禱式           | 開催場所は大鰐町大湯会館。丑の上に着座した観音像を祀り、温泉を祈禱する。   |
| 田舎館村 | 田舎館村埋蔵文化財センター   | 弥生時代の水田跡の上に建てられた施設で、水田跡の上を直接歩くこともできるほか、出土された土器などの展示も行っている。   |
| 板柳町  | 板柳町郷土資料館        | 昭和 40 年代、りんご景気により住宅新築が相次ぎ、それ   |

## (別添) 様式 1

|     |               |  |
|-----|---------------|--|
|     |               | に伴い貴重な文化財が廃棄されていることを危惧し、板柳町文化財研究会有志らが町内を奔走して収集した資料を収蔵・展示。また、町指定文化財の「旧役場庁舎正面玄関」を併設し、明治時代の洋風建築の姿を今に伝える。                |
|     | 板柳町中央アップルモール  | 日本一のりんごの里づくりを目指した自然のミュージアム。「りんごの路・水の道・歴史と文化の途」をメインテーマに、ふるさとセンターから大蔵町の約 2.1km を結ぶ散歩道。町の歴史や文化、りんごの情報を散策しながら学べる。        |
|     | 海童神社          | 豊臣秀吉の朝鮮征伐の際に軍を派遣した折り、津軽為信が海上の安全と国土の繁栄を祈願する神社として建てたのがこの海童神社です。「宝量宮」と名付けられた海童神社境内には、相撲道の哲人・桜錦の胸像や、他にも数基の記念碑などが奉納されている。 |
| 鶴田町 | 弥生画           | 五穀豊穡祈願のため、額面に穀物を貼り付け絵画を作成し、地域の神社へ奉納する。全国で唯一の習わし。   |
| 中泊町 | 中泊町博物館        | 町の自然や歴史、民族、産業を紹介する、家族で楽しめる体験型設備、展示がある。年数回の企画展も開催。  |
|     | 津軽伝統 金多豆蔵人形劇場 | 毎月第 1 土曜日 津軽鉄道津軽中里駅構内にある劇場で開催。全編津軽弁で繰り広げる劇は、伝統を守りながらも世相と風刺を取り入れる、懐の深い劇となっている。  |

## ○イベント、祭り

| 市町村名 | 施設名                        | 施設概要  |
|------|----------------------------|---|
| 弘前市  | 弘前さくらまつり                   | 染井吉野を始め、シダレザクラ、八重桜など 52 品種、約 2,600 本の桜が園内を染め上げる祭り。毎年 4 月中旬～5 月初めまで開催される。              |
|      | 弘前りんご花まつり                  | さくらまつりのすぐ後に開催されるりんごの花見ができるまつり。巨大なアップルパイのふるまいや、りんごで作ったお酒「シードル」の飲み比べができる「シードルナイト」などを開催。 |
|      | 弘前ねぶたまつり                   | 大小約 80 台のねぶたが出陣、夏の夜空を彩る。国の重要無形民俗文化財、「残したい“日本の音風景 100 選”」に認定されている。                     |
|      | 弘前城菊と紅葉まつり                 | 菊の花で飾られた菊人形の展示や桜やもみじの紅葉が園内を鮮やかに彩る。夜はライトアップも実施。  |
|      | 弘前城雪燈籠まつり                  | 市民手作りの雪燈籠約 150 基や雪像などが園内を幻想的に彩る。  |
| 黒石市  | 黒石さくらまつり                   | 期間中は、よさこい演舞など各種イベントでまつりを盛り上げる。夜にはライトアップされ、夜桜も楽しめる。                                    |
|      | こでんてん in 黒石こみせ             | 人とモノを繋ぐ魅力満載のクラフト展。全国各地から集まった手しごと作品の展示販売の他、子どもから大人まで楽しめるワークショップも実施。                    |
|      | クラシックカークラブ 青森ミーティング in こみせ | 全国から集まった憧れの懐かしい名車・旧車が 200 台超。情緒漂う「中町こみせ通り」の景観とクラシックカーとが融合した光景は必見。                     |
|      | 黒石ねぶたまつり                   | 黒石の夏まつりの先陣を切り市内各地で運行、合同運行では人形や扇、大小合わせて 50 台以上のねぶたが出陣。                                 |

## (別添) 様式 1

|       |                        |  |
|-------|------------------------|--|
|       |                        | 勇壮な武者絵の競演で真夏の宵を艶やかに染め上げる。  |
|       | 黒石よされ                  | 日本三大流し踊りのひとつである「黒石よされ」。連日2,000人を超える踊り子たちによる「流し踊り」もさることながら、時折円を描く「廻り踊り」は観客を巻き込んだの乱舞となる。   |
|       | 黒石こみせまつり               | 津軽三味線や津軽太鼓・よさこいソーランの披露、酒蔵見学の他、市消防団による観閲式も挙行されるなど、地元ならではのイベントが盛り沢山。   |
|       | 黒石りんごまつり               | りんごを中心とし、農業・商業・健康の総合的なまちづくりを目指し、りんごの即売会や市内商業者による産業展などが開催   |
| 五所川原市 | 金木桜まつり                 | 作家・太宰治が少年の頃よく遊んだ場所として知られている芦野公園は、「日本さくら名所100選」にも選ばれ、約1,500本ものソメイヨシノが咲き誇っている。桜のトンネルを通る津軽 鉄道、昔ながらの小さな駅舎、のどかな風景が訪れる人々を一段と和ませてくれる。 |
|       | 奥津軽虫と火まつり              | 「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穡」「悪疫退散」を祈願。稲わらで作った虫の迫力ある山車や、約6mの大松明が市街地を運行し、クライマックスは大虫昇天。まさに東北の奇祭。  |
|       | 五所川原花火大会               | 「水と光と音の祭典」のとおり、噴水や照明、BGMに合わせて約5,000発の花火が打ち上げられる。   |
|       | 五所川原立佞武多               | 高さ約23m、重さ約19tもの巨大な大型立佞武多3台をはじめ、各団体の立佞武多やねぶたが市内を練り歩く祭り。ビルの谷間から顔を出す大型立佞武多の姿は圧巻。  |
|       | 津軽三味線全日本金木大会<br>仁太坊まつり | 津軽三味線発祥の地として文化継承及び若手演奏者の登竜門となっている大会。この大会のエキシビジョンとして「仁太坊まつり」が開催される。   |
|       | 津軽鉄道・ストーブ列車            | 列車は通常2両編成で車内はノスタルジックな作り。1両に2台置かれたダルマストーブの燃料は石炭。真っ赤になったストーブの周りに人が集まります。白一面の津軽平野の夕暮れの風景が格別。                                      |
|       | 相内の虫送り                 | 五穀豊穡と無病息災を祈り、虫人形を先頭に荒馬と太刀振りが町内を跳ね踊る伝統行事。津軽ではサナブリと言われ、例年田植えが終わった頃に行われる。450年の歴史があり、津軽地方の虫送りの原型とも言われている                           |
| つがる市  | つがる市春まつり               | 「千本桜の並木道」で知られる平滝沼公園で開催される春まつり。会場の平滝沼公園は、昭和50年頃から桜が植樹され、ソメイヨシノはじめ約1,000本の桜が花を咲かせる。春まつりでは、ステージイベント、模擬店など多くの人で賑わい、夜にはライトアップも行われる。 |
|       | つがる市ネブタまつり             | 県内で最も早く、7月26日～28日の3日間行われるネブタまつり。市民手作りの個性豊かなネブタが出陣。名物は迫力満点の「喧嘩太鼓の競演」で、観衆を楽しませる。   |
|       | チェスボローカップ水泳駅伝          | チェスボロー号遭難救助を契機に、平成2年(1990年)に始まった水泳駅伝大会。つがる市とバス市(米国・メーン州)の直線距離10,200kmを1チーム5人、全参加者の合計距離を毎年累計して泳ぎ切る目標を掲げた大会。                     |
|       | つがる市メロン・スイカフェスティバル     | つがる市の特産品であるメロン、スイカをPRするためのイベント。メロン、スイカの即売会をはじめ、メロン・  |

## (別添) 様式 1

|      |                 |  |
|------|-----------------|--|
|      |                 | スイカを使ったスイーツ販売やゲーム大会、ステージイベント、バーベキューなど開催される。  |
|      | つがる市盆踊り大会       | 夏の風物詩である盆踊り。やぐらを中心に幾重も輪を作って踊り、誰でも参加可能。工夫を凝らした仮装踊り、つがる市民音頭、やぐらに登壇しての踊り披露など盛り上がりを見せ、市内外から多くの人々が参加し賑わう。                                   |
|      | つがる市馬市まつり       | 東北三大馬市の一つ「馬っこ市」に代わり、昭和 50 年から行われるつがる市最大の祭。8 月下旬に馬ねぶたを曳き市内を練り歩く。最終日には、馬ねぶたへ点火し、新田開発に尽くした農耕馬の霊を昇天させる「新田火まつり」を行い、クライマックスの花火が夏の夜空を焦がす。     |
|      | つがる市食と産業まつり     | 毎年 11 月に開催。「ながいも」「ごぼう」など旬の農産物やつがるブランド加工品販売、グルメ店などが軒を連ね、市内外から多くのお客さんが訪れる。   |
| 平川市  | おのえ花と植木まつり      | 様々な草花や庭木の展示販売等を桜が咲き誇る猿賀公園で開催。  |
|      | 白岩まつり           | 雪のような白岩と新緑が美しい白岩森林公園で様々な催しが行われる。   |
|      | 農家蔵・農家庭園        | 地元の学生が蔵や庭園文化を語りながら、金屋地区をガイドする。冬には農家蔵や蔵並み通りがライトアップされ幻想的になる。   |
|      | たけのこマラソン        | 老若男女問わず参加できるマラソン。終了後は、たけのこ汁と温泉が楽しめる。   |
|      | 平川市蓮の花まつり       | 猿賀公園内「鏡ヶ池」では、7 月中旬頃～9 月初旬頃まで、一面に咲く淡いピンク色の蓮の花を楽しむことができ、期間中には多くのイベントも開催される。  |
|      | 平川ねぶたまつり        | 約 30 台のねぶたが出陣する中、高さ 12m の「世界一の扇ねぶた」が最後尾を務める。華やかな踊りも加わり、夏の風物詩を満喫できる。  |
|      | 平川あどの祭り         | お盆に帰省する方にも平川のねぶたを見せたいという思いから H30 より開催。ねぶた運行前までは、歩行者天国やステージイベントも楽しめる。   |
| 鱒ヶ沢町 | 白八幡宮大祭          | 4 年に 1 度行われ、300 年以上続く伝統の祭り。京都の祇園まつりによく似たお祭り風情に、北前船が運んだ上方文化が偲ばれる。次期開催は 2021 年。  |
|      | イカのカーテンまつり      | イカの生干しをシンプルに炭火で焼いて食べる鱒ヶ沢名物「焼きイカ」は、半世紀不動の人気を誇るグルメ。その生干し風景は「イカのカーテン」と呼ばれる鱒ヶ沢の風物詩。まつりでは、来場者が一斉にイカを干し、100m にも及ぶイカのカーテンをつくる。食もステージも充実のイベント。 |
| 深浦町  | 津軽深浦チャンチャンまつり   | 鉄板の上で獲れたての鮭と野菜、深浦牛を焼き、豪快に食べつくす深浦の秋を象徴するグルメイベント。  |
|      | ライトアップ「ビッグイエロー」 | 北金ヶ沢「日本一の大イチョウ」の黄葉時期にライトアップイベントを開催。  |
|      | グルメ in ふかうら     | 真冬の日本海で水揚げされた食材や地酒などは味わえる宿泊付きのグルメプラン。  |
| 西目屋村 | 乳穂ヶ滝氷祭          | 毎年 2 月第 3 日曜日に開催され、滝の結氷具合で作物の豊凶を占う祭り。  |
|      | カヌー・ジャパンカップ     | 岩木川を舞台に、ワイルドウォーター、スラロームの 2 種   |

## (別添) 様式 1

|      |                      |   |
|------|----------------------|---|
|      |                      | 目を競うカヌーの全国大会。   |
|      | 暗門祭                  | 毎年 9 月第 3 日曜日に開催。白神山地の麓で丸太切り競争やよさこいなどのステージイベントが催される祭り。  |
|      | 白神山地ビクターセンターふれあいデー   | 白神を題材としたダーツや自然素材を使った工作等が体験できる、自然環境への関心と理解を深めるイベント   |
| 藤崎町  | ふじワングランプリ            | 町特産品を使ったオリジナルグルメを販売する B-1 グルメイベント。  |
|      | ながしこ合同運行             | 人間が仮装し、ポーズを作って「生き人形」となり、山車に乗って町内を練り歩く七夕行事。  |
|      | 津軽花火大会               | 平川河川敷において、灯籠流しの後、約 4,000 発の花火が打ち上げられる。  |
|      | ふじさき秋まつり             | りんごと米の収穫感謝祭。高さ 2m のジャンボおにぎりを製作し、来場者に無料で振る舞われる。  |
|      | 常盤八幡宮年縄奉納行事          | 元日の朝、身を清めた男衆が重さ 400kg もある巨大な年縄を奉納する伝統行事。  |
| 大鰐町  | 大鰐温泉つつじまつり           | 茶臼山公園にて毎年月中旬から開催される。  |
|      | 大鰐温泉ねぶたまつり           | 8 月 1 日～7 日に町内を運行。出陣台数は 10 台弱。  |
|      | 万国ホラ吹き大会             | 毎年 6 月の第一土曜日に開催されるホラ吹き自慢がホラを披露する大会。大会前には石の塔へのお山参詣をする。   |
|      | 大鰐温泉サマーフェスティバル       | 7 月中旬から 8 月 17 日までの期間に開催される大鰐町の夏祭り。ねぶたまつりを含んだ数個のイベントの総称。  |
|      | まるごと大鰐秋の感謝祭          | 既存のもやしフェスタとアップルフェアを合体させた、令和元年度に第 1 回を迎えるイベント。会場は地域交流センター「鰐 come」。   |
| 田舎館村 | 田んぼアート               | 異なる色の稲を絵の具代わりに、田んぼを巨大なキャンバスに見立てて絵を描く。毎年 2 つの会場で違った絵柄を楽しめる。  |
|      | 田植え体験ツアー<br>稲刈り体験ツアー | 昔ながらの手作業で第 1 田んぼアートの田植え、稲刈りを体験できる。作業後には田んぼアートから収穫されたお米で作ったおにぎりや豚汁が振る舞われる。   |
|      | 収穫感謝祭&シクラメン市         | 村の芸能・文化・産業を一同に集めた毎年秋恒例のイベント。シクラメン等の花を多数展示即売するほか、模擬競りコーナーや特産品の販売、芸能発表などが行われる。  |
|      | 冬の田んぼアート             | 雪原をスノーシューで踏み固めて描く光と影の芸術「スノーアート」を中心としたイベントで、イギリスのスノーアーティスト、サイモン・ベック氏から技術を継承した「スノーアート集団 It's OK.」が制作を行う。周辺では「冬を楽しむ! 雪と遊ぶ!」をテーマにした各種体験や飲食コーナー、冬花火などの催しが会場を盛り上げる。 |
| 板柳町  | りんご灯まつり              | りんご灯まつりは豊作を祈願するまつりで、メインとなる「りんご山笠」の提灯は、たわわに実るりんごに見立てており、力強い大太鼓のリズムとともに「ノレサ! ソレサ!」の掛け声が真夏の夜空に響きわたる。   |
|      | 雪まつり                 | みかんまきや餅つき、豪華賞品が当たる大抽選会など、楽しいイベントが盛りだくさん。ジャンボ滑り台や、巨大な「もつけ鍋」で作る豚汁の振る舞いもある。  |
|      | 花火大会                 | 約 3,000 発の花火が板柳町の夏の夜空を彩る。   |
|      | りんごの里板柳まるかじりウォーク     | 全国的に健康づくりの一環として人気のある『ウォーキング』を「りんごの里板柳」において開催。   |



## (別添) 様式 1

|     |                         |   |
|-----|-------------------------|---|
| 鶴田町 | 鶴の舞橋桜まつり                | 毎年GW期間中に開催。富士見湖パーク内に咲く約2,000本の桜が楽しめる。期間中は「鶴の舞橋全国カラオケ大会」などのイベントも開催され多くの観光客が訪れる。                    |
|     | つるたまつり                  | 毎年8月中旬頃に開催され、鶴田本町地区の「ねぶた運行」や津軽富士見湖での花火大会が実施される。花火大会では県内数カ所で見ることのできない水上スターマインは観光客の人気となっている。        |
| 中泊町 | なかどまりまつり                | 中里・小泊の二つの地域で開催。なにもささ踊りや海上相撲など各地域の特徴を活かした催しを行っている。   |
|     | 中泊町ビーチサッカー青森県大会 in こどもり | 今年で24回目の開催となった折腰内ビーチで行われるビーチサッカー大会。全国最大規模のチーム数が集まる。   |
|     | 竜泊ラインウォーキング             | 急こう配のやまなみを一気に駆け下り、津軽国定公園ならではの華麗な景色を、歩いて堪能できる。完歩後は地元食材の昼食と地場産品が当たる抽選会を開催。                          |
|     | 大沢内ため池ウォーキング            | 秋のいろづいたため池周辺の紅葉を楽しみながら歩くイベントで、平成の名水百選に選ばれた「湧つぼ」で休憩しながら、自分の力量に合わせて楽しめる。完歩後は地元食材の昼食と地場産品が当たる抽選会を開催。 |
|     | 活ハマまつり                  | 若手漁師や漁協など漁業関係者が中心となり組織された「活ハマクラブ」が主催するイベント。活イカ釣りや漁船クルーズ等各種催しの他、鮮魚や特産物の販売も。                        |

## 【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

| 市町村名  | 施設数 | 部屋数                      | 最大収容可能人数 |
|-------|-----|--------------------------|----------|
| 弘前市   | 19  | 1,734                    | 3,207    |
| 黒石市   | 5   | 91                       | 285      |
| 五所川原市 | 7   | 394                      | 533      |
| つがる市  | 2   | 41                       | 153      |
| 平川市   | 6   | 125                      | 560      |
| 鱒ヶ沢町  | 3   | 288                      | 1,043    |
| 深浦町   | 5   | 147                      | 854      |
| 西目屋村  | 3   | 宿泊 56 部屋<br>コテージ 10<br>棟 | 247      |
| 藤崎町   | 0   | 0                        | 0        |
| 大鰐町   | 3   | 250                      | 803      |
| 田舎館村  | 0   | 0                        | 0        |
| 板柳町   | 1   | 6                        | 44       |
| 鶴田町   | 1   | 13                       | 53       |
| 中泊町   | 0   | 0                        | 0        |

※宿泊施設数、部屋数、最大収容人数は「従業員数が10名以上の施設」を対象に記載。

## 【利便性：区域までの交通、域内交通】

マネジメントエリア内における公共交通機関のハブとなっているのが弘前駅であるため、弘前駅を中心に記載する。

## ○飛行機

【東京（羽田）】 ～青森空港 約1時間

(別添) 様式 1

- 【大阪（伊丹）】 ～青森空港 約2時間
- 【名古屋（小牧）】 ～青森空港 約1時間半
- 【札幌（新千歳空港）】 ～青森空港 約50分
- 【ソウル（仁川）】 ～青森空港 約2時間45分
- 【中国（天津）】 ～青森空港 ※現在運休中
- 【台湾（台北）】 ～青森空港 約4時間30分 水・土運航

●空港から各地域への主な交通機関と所要時間

青森空港～弘前駅 バス1時間（片道大人1,000円）

○新幹線

- 【東京駅】 から【新青森駅】約3時間半、【奥津軽いまべつ駅】約3時間40分
- 【仙台駅】 から【新青森駅】約1時間40分、【奥津軽いまべつ駅】約2時間
- 【盛岡駅】 から【新青森駅】約1時間、【奥津軽いまべつ駅】約1時間20分
- 【新函館北斗駅】から【新青森駅】約1時間、【奥津軽いまべつ駅】約50分

※新幹線からの接続

- 【新青森駅】 から【弘前駅】 約40分

○高速バス

- 【東京】から【弘前】約10時間半
- 【仙台】から【弘前】約4時間50分
- 【盛岡】から【弘前】約2時間50分

○自動車・レンタカー

- 【仙台宮城IC】～【大鰐弘前IC】 東北自動車道で約350km 約3時間50分
- 【盛岡IC】 ～【大鰐弘前IC】 東北自動車道で約165km 約2時間

○域内交通（電車・バス）

JR 奥羽本線のほかに津軽鉄道や弘南鉄道といったローカル線や各地のバス事業者が地域内の主な二次交通を担っている。

【外国人観光客への対応】

14市町村の情報を集約している観光サイト「津軽ナビ」においては英語のみ対応しているが、域内各地において、それぞれ多言語対応を行っている。例えば、弘前市においては、多言語でのパンフレット（英・韓・簡・繁・タイの5言語）作成、ホームページ（英・韓・簡・繁の4言語）を作成している。

### 3. 各種データ等の継続的な収集・分析

| 収集するデータ       | 収集の目的                       | 収集方法             |
|---------------|-----------------------------|------------------|
| WEBサイトのアクセス状況 | 地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。 | 津軽ナビを活用して実施。     |
| 延べ宿泊者数        | 誘客施策の効果や顧客層等を把握するため。        | 県の観光統計を活用して収集。   |
| 観光消費額         | 地域への経済波及効果を検証するため。          | 2019年度中に調査方法を検討。 |
| 来訪者満足度        | 受入環境整備及び旅行商品の効果             | 2019年度中に調査方法を検討。 |

|        |                              |                   |
|--------|------------------------------|-------------------|
|        | や顧客のニーズを把握するため。              |                   |
| リピーター率 | 顧客満足度向上のための施策の効果や顧客層を把握するため。 | 2019 年度中に調査方法を検討。 |

## 4. 戦略

### (1) 地域の強みと弱み

|      | 好影響   | 悪影響  |
|------|---|--|
| 内部環境 | <p><b>強み (Strengths)</b></p> <p>・自地域で積極的に活用できる強みは何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・域内各地でねぶた/ねぶたという特徴的な地域伝統行事があること</li> <li>・JRのほかに、津軽鉄道と弘南鉄道というローカル鉄道2社があること。</li> <li>・農水産物の生産が盛んで観光資源化できる素材が多く、収穫体験もできること。</li> <li>・訪日外国人の関心が高い温泉に関する資源が豊富であること。</li> <li>・大都市圏から離れているため、食生活や風習が新鮮に感じられること。</li> <li>・都会にはない田舎の風景。</li> <li>・歴史的建造物が各地にある</li> <li>・日本で最初の世界自然遺産「白神山地」や日本遺産「北前船寄港地」など外部から認定された観光資源がある。</li> <li>・山・海・平野のすべてがあり、多様な文化とそれらの食に関する資源が豊富である。</li> <li>・山里文化、マタギ文化があること</li> </ul> | <p><b>弱み (Weaknesses)</b></p> <p>・自地域で改善を必要とする弱みは何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光資源が少ない自治体もあり、積極性や理解度に差があること。</li> <li>・四季を通じた観光資源が乏しい (特に夜間や冬季)</li> <li>・コンテンツ間の2次交通の不便さ (便数、ユニバーサルデザインなど)</li> <li>・人口減少や少子高齢化による担い手不足</li> <li>・観光地を周遊し案内することが難しい</li> <li>・小規模施設が多く、一度に受け入れられる人数に限りがある。</li> <li>・宿泊施設が限られる</li> <li>・観光施設の老朽化</li> <li>・外国人旅行者に向けた受入環境の未整備</li> <li>・観光振興を進めていくプレーヤーの育成。</li> <li>・情報発信が不得意</li> </ul> |
| 外部環境 | <p><b>機会 (Opportunity)</b></p> <p>・自地域にとって追い風となる要素は何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ等で「津軽弁」を取り上げてもらえる機会があること。</li> <li>・夏休みの国内旅行先の人気伸び率が204%で青森が全国第2位 (スカイキャスナー ジャパン調べ)</li> <li>・訪日外国人の脱ゴールデンルートにより地方へ訪れる人の増加</li> <li>・青森と台湾 (台北) を結ぶ国際定期便がスタートし、訪日外国人の増加。</li> <li>・弘前の桜、五所川原の立佞武多、田舎館の田んぼアートなど、ほぼ毎年定番的に取り上げてもらえる話題があること。</li> <li>・外国人個人旅行客の増加</li> <li>・青森-台北線などの定期便新規就航</li> <li>・台中市との交流の深化</li> <li>・地方への興味、関心が高まっている</li> </ul>  | <p><b>脅威 (Threat)</b></p> <p>・自地域にとって逆風となる要素は何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新幹線が止まる新青森駅からの鉄道のアクセスが悪い。</li> <li>・西北地域には高速道路が通っておらず、アクセスが悪い点。</li> <li>・新幹線や飛行機が整備されてはいるが、まだ「遠い」イメージが拭いきれていない。</li> <li>・バスや鉄道のダイヤ変更・減便</li> <li>・台湾直行便の搭乗率下落による減便・運休のリスク</li> <li>・隣国との関係の悪化</li> <li>・東日本大震災や旅行形態の変化により団体が減少している</li> </ul>   |

(別添) 様式 1

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北新幹線全線開業</li> <li>・北海道新幹線札幌延伸</li> </ul> |  |
|--|---|--|

(2) ターゲット

|              |  |
|--------------|--|
| ○第1ターゲット層    | 2019年度に実施する自地域の現状把握のための調査に基づき、2020年度中に設定する予定。                                      |
| ○選定の理由、○取組方針 | 2019年度に自地域の現状を把握するための調査を実施し、その結果に基づいて自地域の強み、弱みを整理したうえで、ターゲット層やターゲット層に対する取組方針を選定する。 |

(3) コンセプト

|             |  |
|-------------|--|
| ① コンセプト     | 2019年11月を目途に決定予定   |
| ② コンセプトの考え方 | 津軽地域が10年後、20年後も選ばれる観光地となるように地域一体となって活動する一方で、域内の各自治体や各事業者、住民がそれぞれの役割をしっかりと担っていくことを踏まえたコンセプトを検討する。 |

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

| 項目                                   | 概要  |
|--------------------------------------|---|
| 戦略の多様な関係者との共有                        | 数か月に1回各会員向けのレポートや年に1回の総会での報告という形で戦略を共有するといった方法を検討している。また、【地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組】欄にも記載した勉強会やワークショップにおいて、決定した戦略の推進方法などの議論を交わすことで、多様な関係者の戦略への理解を深めて頂く。 |
| 観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築 | チェック項目を定め、観光地の受入環境整備の状況や、各関係者がそれぞれで行っている取組等が効果的に行われているか診断する「観光診断」を実施する。チェック項目や診断を行う主体については2019年度中に検討する。   |
| 一元的な情報発信・プロモーション                     | 各観光関係の協議会や市町村が個別で発信している情報について、14市町村の情報を一元的に発信している「津軽なび」への情報集約を行う。<br>また、各市町村等で個別に行っていた、海外や首都圏プロモーションなど、スケールメリットが見込まれるものについては、協議の上DMOがまとめて実施する。                |

6. KPI (実績・目標)

(1) 必須KPI

| 指標項目 | 単 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022年 |
|------|---|------|------|------|------|------|-------|
|      |   |      |      |      |      |      |       |

(別添) 様式 1

|        | 位  | 年(度)            | 年(度)            | 年(度)               | 年(度) | 年(度) | (度) |
|--------|----|-----------------|-----------------|--------------------|------|------|-----|
| 延べ宿泊者数 | 千人 | 1,092<br>(56.8) | 1,099<br>(57.3) | 3月を目途<br>に集計       | ( )  | ( )  | ( ) |
| 観光消費額  |    |                 |                 | 2019年度中に調査の上設定する予定 |      |      |     |
| 来訪者満足度 |    |                 |                 |                    |      |      |     |
| リピーター率 |    |                 |                 |                    |      |      |     |

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

|   |
|---|
| <p><b>【検討の経緯】</b><br/>各市町村で個別に行っている調査事業や、未実施の調査について、どのような形で実施すれば効率的かつ効果的にマネジメントエリア全体の状況を把握できるのか、関係者間で検討を進めたうえで、2019年度中に調査を実施し設定する予定。</p> <p><b>【設定にあたっての考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●旅行消費額<br/>上記の調査における現状を考慮し、観光消費額の毎年の伸び率目標を設定する。</li> <li>●延べ宿泊者数<br/>上記の調査における現状を考慮し、延べ宿泊者数の毎年の増加率の目標を設定する。</li> <li>●来訪者満足度<br/>上記の調査における現状を考慮し、来訪者満足度の伸び率の目標を設定する。</li> <li>●リピーター率<br/>上記の調査における現状を考慮したうえで、新規客とリピート客のバランスを考慮し、決定する。</li> </ul> |
|---|

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

| 年度     | 総収入 (円)       | 内訳                                      |
|--------|---------------|---|
| 2019年度 | 2,050,000 (円) | 【市町村からの負担金】 2,050,000 (円)               |
| 2020年度 | (円)           | 【市町村からの負担金】 (円)                         |
| 2021年度 | (円)           | 【市町村からの負担金】<br>【国からの補助金】<br>【販売手数料】 (円) |
| 2022年度 | (円)           | 【市町村からの負担金】<br>【国からの補助金】<br>【販売手数料】 (円) |

※2020年度以降の具体的な額（見込）については2019年度中に決定予定

(2) 支出

| 年度     | 総支出           | 内訳  |
|--------|---------------|---|
| 2019年度 | 2,050,000 (円) | 【マーケティング】 570,000 (円)<br>【人材育成費用】 1,480,000 (円) |

(別添) 様式 1

|         |     |  |
|---------|-----|--|
| 2020 年度 | (円) | 【一般管理費】<br>【アドバイザー招聘費用】<br>【津軽圏域観光人材育成事業】<br>【マーケティング事業費】<br>【プラットフォーム構築費用】 (円)  |
| 2021 年度 | (円) | 【一般管理費】<br>【アドバイザー招聘費用】<br>【津軽圏域観光人材育成事業】<br>【マーケティング事業費】<br>【第 2 種旅行業取得費用】<br>【旅行商品・特産品開発費用】<br>【プロモーション費用】<br>【プラットフォーム構築費用】 (円) |
| 2022 年度 | (円) | 【一般管理費】<br>【アドバイザー招聘費用】<br>【津軽圏域観光人材育成事業】<br>【マーケティング事業費】<br>【旅行商品・特産品開発費用】<br>【プロモーション費用】<br>【プラットフォーム構築費用】 (円)                   |

※2020 年度以降の具体的な額（見込）については 2019 年度中に決定予定

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

DMOにより域内の観光コンテンツを集約し、ワンストップでの着地型旅行商品販売などを検討。

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

青森県弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市、鱒ヶ沢町、深浦町、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、鶴田町、中泊町は、(仮称)津軽圏域DMOを当該市町村における地域連携DMOとして登録したいので(仮称)津軽圏域DMOとともに申請します。

9. 記入担当者連絡先

|           |  |
|-----------|--|
| 担当者氏名     | 渡邊 一樹  |
| 担当部署名(役職) | 弘前市観光部国際広域観光課 主事   |
| 所在地       | 青森県弘前市上白銀町1番地1   |
| 電話番号(直通)  | 0172-35-1128   |
| FAX 番号    | 0172-38-5867   |
| E-mail    | <a href="mailto:kaz-watanabe@city.hirosaki.lg.jp">kaz-watanabe@city.hirosaki.lg.jp</a> |

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

|           |                  |
|-----------|------------------|
| 都道府県・市町村名 | 青森県弘前市           |
| 担当者氏名     | 渡邊 一樹            |
| 担当部署名(役職) | 弘前市観光部国際広域観光課 主事 |

## (別添) 様式 1

|          |  |
|----------|--|
| 所在地      | 青森県弘前市上白銀町1番地1   |
| 電話番号(直通) | 0172-35-1128   |
| FAX番号    | 0172-38-5867   |
| E-mail   | <a href="mailto:kaz-watanabe@city.hirosaki.lg.jp">kaz-watanabe@city.hirosaki.lg.jp</a> |

|           |  |
|-----------|--|
| 都道府県・市町村名 | 青森県黒石市   |
| 担当者氏名     | 後藤 琢真  |
| 担当部署名(役職) | 商工観光部 観光課 主事   |
| 所在地       | 黒石市大字市ノ町11番地1  |
| 電話番号(代表)  | 0172-52-2111   |
| FAX番号     | 0172-52-6191   |
| E-mail    | <a href="mailto:kankoushinkou@city.kuroishi.aomori.jp">kankoushinkou@city.kuroishi.aomori.jp</a> |

|           |  |
|-----------|--|
| 都道府県・市町村名 | 青森県五所川原市   |
| 担当者氏名     | 飛嶋 拓也  |
| 担当部署名(役職) | 経済部 観光物産課 主幹・係長  |
| 所在地       | 青森県五所川原市字布屋町41番地1  |
| 電話番号(直通)  | 0173-35-2111(内線2572)   |
| FAX番号     | 0173-39-1093   |
| E-mail    | <a href="mailto:takuya-tobishima@city.goshogawara.lg.jp">takuya-tobishima@city.goshogawara.lg.jp</a> |

|           |  |
|-----------|--|
| 都道府県・市町村名 | 青森県つがる市  |
| 担当者氏名     | 藤森 友香  |
| 担当部署名(役職) | 経済部商工観光課   |
| 所在地       | つがる市木造若緑61-1   |
| 電話番号(直通)  | 0173-42-1114   |
| FAX番号     | 0173-42-3069   |
| E-mail    | <a href="mailto:yuka_fujimori@city.tsugaru.lg.jp">yuka_fujimori@city.tsugaru.lg.jp</a> |

|           |  |
|-----------|--|
| 都道府県・市町村名 | 青森県平川市   |
| 担当者氏名     | 土岐千尋   |
| 担当部署名(役職) | 経済部商工観光課観光係(主事)  |
| 所在地       | 平川市猿賀南田15-1  |
| 電話番号(直通)  | 0172-44-1111(内線2183)   |
| FAX番号     | 0172-43-5005   |
| E-mail    | <a href="mailto:chihiro_toki@city.hirakawa.lg.jp">chihiro_toki@city.hirakawa.lg.jp</a> |

|           |  |
|-----------|--|
| 都道府県・市町村名 | 青森県鱒ヶ沢町  |
| 担当者氏名     | 吉田 聖   |
| 担当部署名(役職) | 観光商工課 観光商工班 主幹   |
| 所在地       | 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字本町209番地2  |
| 電話番号(直通)  | 0173-72-2111(代表)   |
| FAX番号     | 0173-72-2374(代表)   |
| E-mail    | <a href="mailto:sei@town.ajigasawa.lg.jp">sei@town.ajigasawa.lg.jp</a> |

|           |         |
|-----------|---------|
| 都道府県・市町村名 | 青森県深浦町  |
| 担当者氏名     | 鈴木 マグロー |

## (別添) 様式 1

|            |                                |
|------------|--------------------------------|
| 担当部署名 (役職) | 観光課 課長補座                       |
| 所在地        | 青森県深浦町深浦字苗代沢 84-2              |
| 電話番号 (直通)  | 0173-74-4412                   |
| FAX 番号     | 0173-74-2400                   |
| E-mail     | jiro_suzuki@town.fukaura.lg.jp |

|            |                              |
|------------|------------------------------|
| 都道府県・市町村名  | 青森県西目屋村                      |
| 担当者氏名      | 山内 啓太                        |
| 担当部署名 (役職) | 西目屋村 産業課 観光係長                |
| 所在地        | 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字稲元 144       |
| 電話番号 (直通)  | 0172-85-2800                 |
| FAX 番号     | 0172-85-3040                 |
| E-mail     | keita-y@vill.nishimeya.lg.jp |

|            |                            |
|------------|----------------------------|
| 都道府県・市町村名  | 青森県藤崎町                     |
| 担当者氏名      | 木村 大公                      |
| 担当部署名 (役職) | 藤崎町 経営戦略課 企画調整係 主査         |
| 所在地        | 青森県南津軽郡藤崎町大字西豊田一丁目 1 番地    |
| 電話番号 (直通)  | 0172-88-8258               |
| FAX 番号     | 0172-75-2515               |
| E-mail     | kikaku@town.fujisaki.lg.jp |

|            |                         |
|------------|-------------------------|
| 都道府県・市町村名  | 青森県大鰐町                  |
| 担当者氏名      | 石上 朋美                   |
| 担当部署名 (役職) | 企画観光課                   |
| 所在地        | 南津軽郡大鰐町大字大鰐字羽黒館 5-3     |
| 電話番号 (直通)  | 0172-48-2111 (直通なし)     |
| FAX 番号     | 0172-47-6742            |
| E-mail     | syokoh@town.owani.lg.jp |

|            |                                  |
|------------|----------------------------------|
| 都道府県・市町村名  | 青森県田舎館村                          |
| 担当者氏名      | 鈴木 徹                             |
| 担当部署名 (役職) | 企画観光課 主事                         |
| 所在地        | 青森県南津軽郡田舎館村大字田舎館字中辻 123-1        |
| 電話番号 (直通)  | 0172-58-2111 内線 243              |
| FAX 番号     | 0172-58-4751                     |
| E-mail     | toru_suzuki@vill.inakadate.lg.jp |

|            |                                     |
|------------|-------------------------------------|
| 都道府県・市町村名  | 青森県板柳町                              |
| 担当者氏名      | 池田公裕                                |
| 担当部署名 (役職) | 産業振興課 地域振興係 主事                      |
| 所在地        | 青森県北津軽郡板柳町大字板柳字土井 239 番地 3          |
| 電話番号 (直通)  | 0172-73-2111                        |
| FAX 番号     | 0172-73-2120                        |
| E-mail     | tomohiro_i@town.itayanagi.aomori.jp |

|            |                         |
|------------|-------------------------|
| 都道府県・市町村名  | 青森県鶴田町                  |
| 担当者氏名      | 藤田 隆宏                   |
| 担当部署名 (役職) | 企画観光課                   |
| 所在地        | 青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字早瀬 200-1 |



(別添) 様式 1

|           |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| 電話番号 (代表) | 0173-22-2111                       |
| FAX 番号    | 0173-22-6007                       |
| E-mail    | Takahiro_fujita@town.tsuruta.lg.jp |

|            |                                  |
|------------|----------------------------------|
| 都道府県・市町村名  | 青森県中泊町                           |
| 担当者氏名      | 大川 朝央                            |
| 担当部署名 (役職) | 水産商工観光課                          |
| 所在地        | 青森県北津軽郡中泊町大字中里字紅葉坂 209           |
| 電話番号 (直通)  | 0173-57-2111 (内 1613)            |
| FAX 番号     | 0173-57-3849                     |
| E-mail     | Tomohiro_o@town.nakadomari.lg.jp |

**法人名:〔設立予定〕(仮称)津軽圏域DMO**  
**登録区分名:地域連携DMO**

**2019年11月を目途に決定予定**

【区域】青森県 弘前市、黒石市、平川市、  
 藤崎町、大鰐町、田舎館村、西目屋村、  
 五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町、  
 板柳町、鶴田町、中泊町

【設立時期】2020年4月

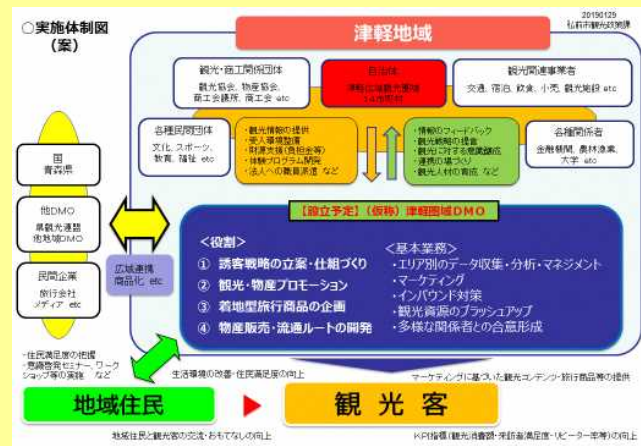
【代表者】未定

【マーケティング責任者】未定

【職員数】未定

【連携する主な事業者】

弘前商工会議所、弘前観光コンベンション協会、  
 弘前市物産協会、弘南バス(株)、弘南鉄道(株)、  
 津軽鉄道(株)、弘前旅館ホテル組合など



(表: KPI(実績・目標))※( )内は外国人に関するもの

|        | 2019年              | 2020年<br>(目標)   | 2021年<br>(目標) | 2022年<br>(目標) | 2023年<br>(目標) |
|--------|--------------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|
| 旅行消費額  | 2019年度中に調査の上設定する予定 |                 |               |               |               |
| 延べ宿泊者数 | 1,092<br>(56.8)    | 1,099<br>(57.3) | 3月を目途に集計      | ( )           | ( )           |
| 来訪者満足度 | 2019年度中に調査の上設定する予定 |                 |               |               |               |
| リピーター率 |                    |                 |               |               |               |

※観光関係者及び住民に対する意識調査も項目として追加する予定

**地域の合意形成及び住民の意識啓発に関する取組**

○地域の合意形成を図る場として、月1回程度、官民それぞれの関係者が集まり、それぞれが担う役割、地域の課題やコンテンツ開発などについての意見交換を行う。

○観光客受入に対する住民の意識啓発を図るため、現状を把握する目的で住民の意識調査を実施し、その結果を基に、住民の郷土愛・満足度向上に向けた対策を検討・実施する。

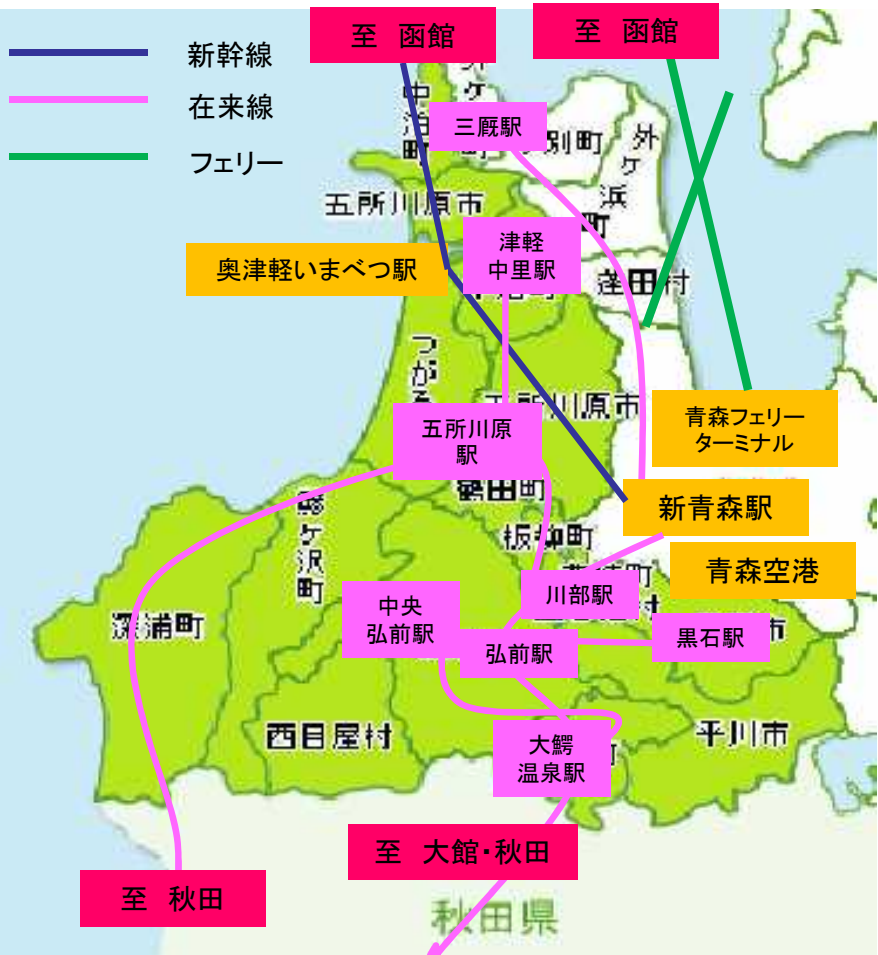
**観光人材育成に関する取組**

○専門人材の指導により、地域におけるマーケティング・マネジメント人材を育成する。

○持続可能な観光地域づくりのために、コーディネーターやオペレーター等の人材を育成する。

**多言語対応に関する取組**

青森空港には中国(天津)・韓国(ソウル)・台湾(台北)の直行便が就航しており、これらの地域からの来訪者が多い傾向にある。また、近年、大型クルーズ船の寄港が増加傾向にあり、県内を周遊する外国人客が増加しているため、英語を始めとした多言語対応が必要となってくることから、住民の意識啓発、飲食店のメニューや標識の多言語化、多言語ガイドの育成などインバウンドの受入体制整備を更に推進する。



**文化・自然を活用した「津軽」地域のブランディングに関する取組**

当該地域の文化は、縄文時代から始まり、江戸・明治時代の様々な歴史的背景が多く存在し、当時の香りを各地で感じられる地域である。明治・大正期には、弘前市を中心に、西洋の文化が積極的に取り入れられたことから、和と洋の歴史的建造物が数多く点在し、りんごやコーヒー、フランス料理などの食や産業の面でも、当時から親しまれ、今に受け継がれている。また、津軽地域共通の文化としては「津軽塗」や「こぎん刺し」、「津軽三味線」などが挙げられる。

当該地域の自然は、世界自然遺産である白神山や津軽富士と呼ばれる岩木山を始め、津軽平野を潤す岩木川、水産資源の宝庫である日本海など、たくさんの景観や資源が存在する。また、津軽一円には嶽温泉、青荷温泉、大鰐温泉、黄金崎不老ふ死温泉といった温泉資源も豊富である。

これらの資源を基に、当該地域ならではの観光コンテンツの情報集約に取り組み、四季の特色を活かしながら、14市町村が持つ様々な観光コンテンツを面的に結び付け、国内外の観光客に対して訴求力のある体験プログラムやツアーを造成し、長期滞在が可能な「津軽エリア」でのブランディングを目指すとともにワンストップ窓口としての機能を担うことを目指す。